

広報しんとく Since1950

Shintoku



8

August.2021

(令和3年)

No.777

元気なまちを、あなたとつくる広報紙



特集

あれから5年

～平成28年台風10号大雨災害～

other contents

三世代のつどうまち『第5章』へ / クローズアップ 西川航平くん・菅原敦志くん

cover

オン・ユア・マークス

『On Your Marks～位置について』 新得町 陸上を楽しむ集い

あのとぎの赤ちゃん



平成 24 年
2 月号掲載



～ 9 年後の写～

なかむら たいすけ
中村 泰祐 くん (9 歳)
平成 23 年 8 月 21 日生まれ
パパ 徹 ママ 友美

フロアボールを
頑張っています！



平成 22 年
2 月号掲載



～ 11 年後の写～

さいとう みつき
齊藤 充希 くん (12 歳)
平成 21 年 8 月 12 日生まれ
パパ 恵介 ママ 祐子

陸上とスケートを頑張っています！
フロアボールと登山も好きです！

次回は 9 月生まれのお子さんを募集します。【締切は 8 月 25 日 (水)】
投稿の際は、①お子さんの写真、②氏名と生年月日、③頑張っていることや好きなこと、④保護者氏名の 4 点を広報広聴係までメールでお送りください。メールアドレスは裏表紙に記載しています。



7 月 29 日、町陸上競技場「ピラサ」で 2 年ぶりに開催された、陸上を
楽しむ集いでの一枚です。
当日は町内の小中学生 75 人が競技
に出場しました。出場した選手た
ちは、それぞれが好記録を目指し
て陸上競技を楽しんでいました。

今月の表紙

私たちの人口・世帯数

男性	2,837 人	(+ 3)
女性	2,910 人	(- 7)
人口	5,747 人	(- 4)
世帯数	3,226 世帯	(+ 5)

※令和 3 年 7 月末時点。外国人を含めた数で掲載。() 内は前月比

新得町公式 SNS

Instagram



フォロワー=2,414 人

Twitter



フォロワー=5,929 人

facebook



フォロワー=393 人

今月号のすくすく赤ちゃんの紹介はありません。



当選証書を受け取る浜田町長

三世代のつどうまち 『第5章』へ～

新得町長選挙・浜田正利氏が5選

任期満了に伴う新得町長選挙が7月13日に告示され、現職の浜田正利氏のほかに立候補届け出がなく、無投票で5期目の当選を果たしました。

当選にあたり、町民の負託にどう応えていくのか、今後のまちづくりについてお話を伺いました。

―5期目の抱負は

4期16年間を支えていただいた皆さんからの信頼と、5期目再選の期待に応えるべく、掲げた15の重点政策・各課題の解決を確実に推進していきます。

―5期目のまちづくりのポイントは

町民の皆さんの生活をしっかりと支えるとともに、次の世代に『つなぐ』ことをテーマとしてまちづくりを進めます。

新得町が持つ様々な地域資源「『まちの宝』をさらに磨き上げるとともに、先人が築いた歴史の重みを次世代につなぐための『人づくりに力を入れていきます。』

人口減少が避けられない中でも、新得町が将来に渡って持続・発展していけるよう『まちづくりは、人づくり』であることを念頭に置いて、具体的な施策へとつなげていきます。

―町民の皆さんへメッセージを

まちづくりを前に進めるには、私や職員も努力はもちろんです、町民の皆さんにも一緒になって汗を流していただく必要があります。希望にあふれる新得町の未来を共に築き上げていくために、改めて、皆さんのご支援・ご協力をお願いいたします。

第5期町政執行で掲げる

5つの柱と15の重点政策

◎まちの活性化をめざして

- 環境、景観、食の「いらっしやいしんとく」をさらにすすめます。
- 多拠点生活誘致対策（移住定住対策）をすすめます。
- 二酸化炭素排出（CO₂）ゼロをめざしてすすめます。
- 再生可能エネルギーの活用をすすめます。
- 全ての産業の振興をすすめます。
- 新得駅周辺の再整備をすすめます。
- スマートインターチェンジ、道の駅の実現をめざします。

◎協働のまちをめざして

- 快適・安全なまちづくりをパートナーシップですすめます。
- 人口減を見据えた行財政運営をすすめます。

◎安心・安全のまちをめざして

- 不安のない保健・福祉・医療の整備をすすめます。
- 交通弱者対策をすすめます。
- 地域防災、減災対策をすすめます。

◎次代の人づくりのために

- 全町教育を推進します。
- 異業種・異世代交流をすすめます。

◎新型コロナウイルス感染症対策の推進

- コロナ禍を克服し、命と暮らしを守ります。

あれから5年

平成28年台風10号大雨災害



▲氾濫したパンケシントク川と崩壊したJR線路鉄橋
(平成28年9月2日撮影)

本町に甚大な被害をもたらした平成28年8月の台風10号大雨災害からもうすぐ5年が経過します。

当時の状況や対応を振り返るとともに、その後の防災の取り組みをお伝えします。

改めて新得町の防災について一緒に考えましょう。

相次ぐ台風の襲来

記録的な豪雨

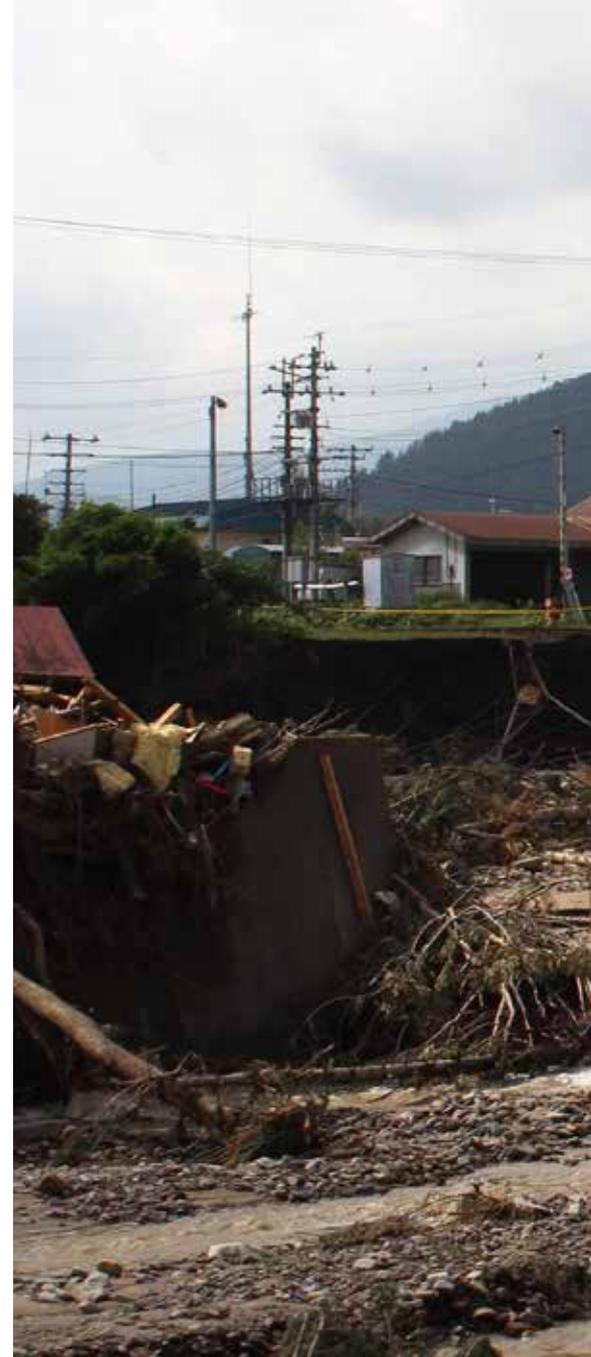
平成28年8月、北海道に4つの台風が相次いで接近・上陸し、本町にも記録的な豪雨をもたらしました。

新得町の平年の8月平均雨量が約200ミリのに対し、平成28年8月の総雨量はその3倍に当たる614ミルを記録。また、新得市街地を流れる各河川の上流部(道東道パンケオタソイ橋観測局)では、平年の4倍に当たる834ミルの雨量を記録。山間部では市街地以上の猛烈な雨が降っていたことがうかがえます。

【平成 28 年台風 10 号について】

・台風 10 号は、8 月 30 日 17 時 30 分頃、暴風域を伴ったまま岩手県大船渡市付近に上陸し、速度を上げながら東北地方を通過して日本海に抜けるという、特異な進路をたどった。台風が東北地方太平洋側に上陸したのは気象庁が 1951 年に統計を開始して以来初めて。【内閣府 平成 28 年台風 10 号による被害状況等について】

・十勝地方では、台風 10 号が最も接近した 30 日夜から 31 日未明に雨や風がピークとなり、30 日 23 時 30 分に新得町南部付近では時間約 90 ミリの猛烈な雨を観測した。【帯広測候所発表】



【新得町の降雨量（アメダス観測地点：新得町 4 条南）】

- 台風 7 号（8 月 17 日）…………… 1 2 0 ミリ
- 台風 11 号、9 号（8 月 20～23 日）…………… 2 0 3 ミリ
- 台風 10 号（8 月 29～31 日）…………… 2 3 4 ミリ
- 最大 1 時間雨量（8 月 31 日 0 時～1 時）…………… 3 3 ミリ
- 平成 28 年 8 月総雨量…………… 6 1 4 ミリ
（うち 8 月 17～31 日の 15 日間雨量：5 9 6 ミリ）

※参考 令和 3 年 6 月総雨量：46 ミリ
令和 3 年 7 月総雨量：37 ミリ

※いずれも小数点以下四捨五入

【地理的条件図】



2062人に避難勧告、 159人に避難指示を発令

35年ぶりとなる

新得町災害対策本部を設置
避難勧告・指示を発令

前日から雨が降り続いた8月30日、町は昭和56年8月の豪雨災害以来35年ぶりとなる災害対策本部を設置しました。（台風9号に伴い、8月23日午前7時に本部を設置し、同日解散）

30日の午後3時、避難所を開設。同時に1175世帯、2062人を対象に避難勧告を、午後4時30分には中新得川沿いの一部の世帯を対象に避難指示を発令しました。この日の午後9時時点で各避難所に避難された方は合計で93人でした。

午後7時、各河川の最終確認を行い、越水の可能性は低いと判断。

翌日午前4時からの巡回を行うことを決定し、午後10時に町職員の大半と消防団員は自宅待機としました。

真夜中に相次いで被害発生
河川氾濫、停電、携帯不通、
断水、鳴り響くサイレン

深夜、山間部で降り続けた猛烈な雨の影響で河川の水位は急上昇。パンケシントク川と中新得川が氾濫しました。

河川付近の住宅には越水した濁流が迫る中、通信設備が被害を受けたことでドコモの携帯電話が不通となり、多くの町民が連絡手段を失いました。加えて大規模な断水の発生により不安が高まる中、午前1時50分、消防団を再招集するサイレンが市街地に鳴り響きました。

雨は午前1時をピークに次第に弱まり、31日の朝に降り止みましたが、台風10号による記録的な豪雨は新得町に深く大きな爪痕を残しました。



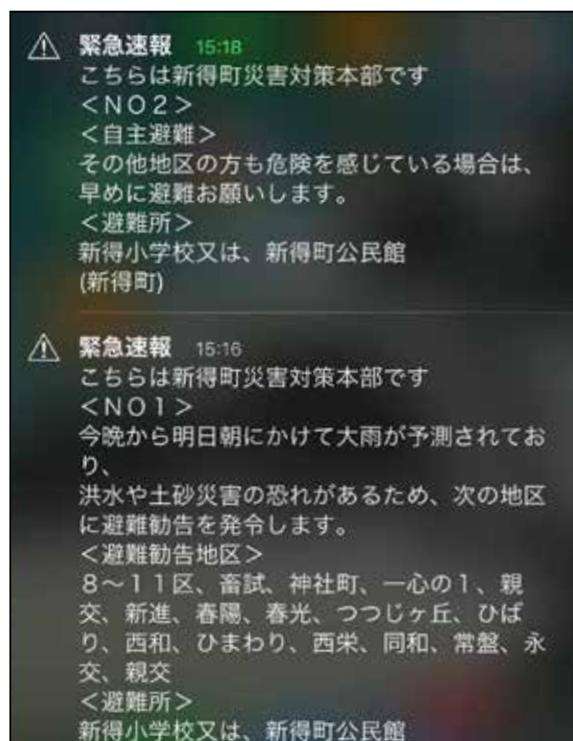
▲特に被害の大きな本通橋付近では、重機による瓦礫や土砂の撤去作業が続いた（9月15日撮影）

あの時、何が起きたのか
どう対応したのか

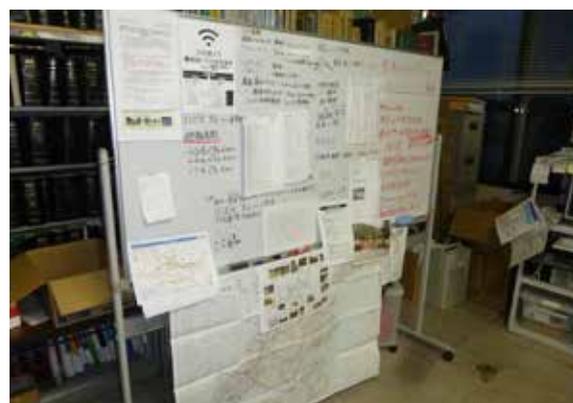
当時発生した様々な被害・状況と、
災害対策本部が実施した主な対応を
時系列順に記載します。

（平成28年台風10号大雨災害検証報告書）
より抜粋

時刻	状況および対応
平成28年8月30日（火）	
4:00	町内パトロール開始。気象情報等の収集
9:00	危険箇所での土のう積みを実施（以降 20:30 まで）
14:10	新得町災害対策本部設置
15:00	避難所開設（町公民館、新得小学校、屈足総合会館）
15:00	避難勧告発令（22 町内会、2,062 人）
15:16	緊急メール）避難勧告（新得地区）
15:18	緊急メール）避難勧告地区以外の方へ自主避難呼びかけ
15:20	災害時要援護者電話連絡（勧告地区）16:40 完了
15:23	緊急メール）避難勧告（屈足地区）
16:30	避難指示発令（永交会及び常盤会の一部）
18:29	緊急メール）避難指示（永交会及び常盤会の一部）
18:35	避難指示世帯への周知（個別に電話）
19:00	パンケシントク川 神社橋、パンケオタソイ川 末広橋確認 ～水位上昇は見られるが、まだ越水の可能性は低い～
19:45	佐幌川 二条橋確認～水位上昇は見られない～
21:55	消防団員、町職員補佐職以下自宅待機 （翌日4時からの町内巡回開始等を決定）
22:09	トムラウシ曙橋～東大雪荘 停電
23:57	新得市街地で一時停電
8月31日（水）	
0: 頃	ドコモの携帯電話が不通
0:40	南2丁目アンダーパス冠水 通行止め
0:52	災害対策本部より全職員召集の指示
1:20	緊急メール）避難指示（神社町、一心の1）
1:20	新得・屈足市街の全戸、上佐幌地区の一部が断水
1:30	神社橋橋台洗掘、道路決壊 軽乗用車1台が神社橋から転落
1:50	消防団再招集
2:20	学校通 小学校体育館北側道路の半分が決壊
2:30	町内全域停電
5:00	道路等の土木施設の調査
6:27	緊急メール）町内全域を対象に自主避難呼びかけ
6:30	給水所開設
6:40	避難所開設（新得中学校）
9:35	災害関連情報を町ホームページに掲載開始（随時更新）
日中	独居高齢者及び高齢夫婦世帯に水を搬送
日中	ろう者世帯戸別訪問
16:40	避難所閉鎖（新得中学校）
17:30	避難所閉鎖（屈足総合会館）



▲ 8月30日の15:16、15:18に実際に発信された緊急速報メールの内容。各携帯会社を通じ、新得町内にいる全ての方の携帯電話へ配信された



▲被害状況が逐次記された本部のホワイトボード

※緊急メール…緊急速報（エリア）メール配信

時刻	状況および対応
9月8日(木)	
11:頃	携帯電話が復旧(LTE通信可能)
9月9日(金)	
16:00	すべての避難勧告を解除
日中	被災証明書、罹災証明書の交付開始
9月10日(土)	
日中	町内会長会議 (新得地区2回、屈足地区1回)
9月14日(水)	
7:00	上水道生活用水の通水再開 ～17日まで各地区順次通水
12:00	安倍総理大臣、山本農林水産大臣と 被災町村長との意見交換 (中札内村:浜田町長出席)
9月17日(土)	
9:00	避難所閉鎖(新得小学校)
9月18日(日)	
17:00	上水道 飲用再開
9月23日(金)	
日中	学校給食 通常メニュー再開
9月30日(金)	
17:00	災害対策本部 解散
10月1日(土)	
	復旧・復興対策会議を発足

時刻	状況および対応
平成28年9月1日(木)	
14:00	避難所閉鎖(公民館)
日中	災害関連情報を各避難所及び給水所等 への掲示開始
日中	健康被害調査の開始
日中	医療福祉施設の水の確保、現状調査
日中	独居高齢者等給水希望調査
9月2日(金)	
9:19	行方不明者発見 真心橋上流 (神社橋から4km)
9:48	神社橋仮復旧 通行可能
13:30	避難指示の一部解除 → 避難勧告へ
日中	独居高齢者等への給水
9月3日(土)	
日中	避難指示地域の住民安否確認
9月4日(日)	
14:頃	携帯電話の通信が仮復旧(通話のみ可能)
9月6日(火)	
8:00	避難指示(継続分)の解除 → 避難勧告へ
13:30	町内会長会議
9月7日(水)	
9:00	災害ボランティアセンター立ち上げ
日中	被災住宅の被害認定調査開始
17:30	義援金受付開始

【避難所開設状況】

避難所名	開設日時	閉鎖日時	実避難者数
新得町公民館	8月30日 15:00	9月1日 14:00	116人
新得小学校	8月30日 15:00	9月17日 9:00	143人
新得中学校	8月31日 6:40	8月31日 16:40	2人
屈足総合会館	8月30日 15:00	8月31日 17:30	5人

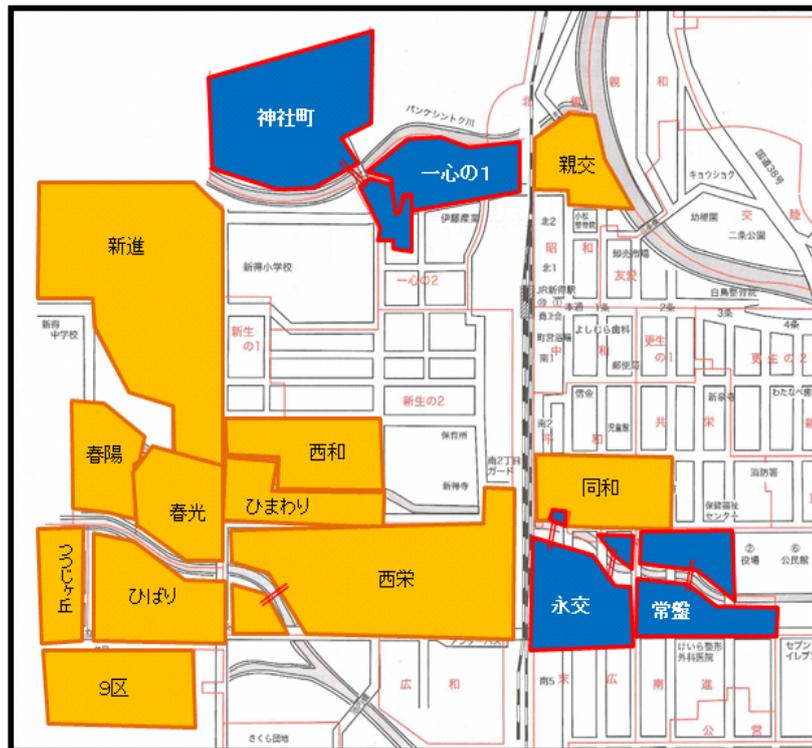
※最多避難者数 217人(各避難所の合計:8月31日5:00時点)

※上記のほか、子どもセンターなかよしに避難された方36名

【避難情報の発令状況及び区域】



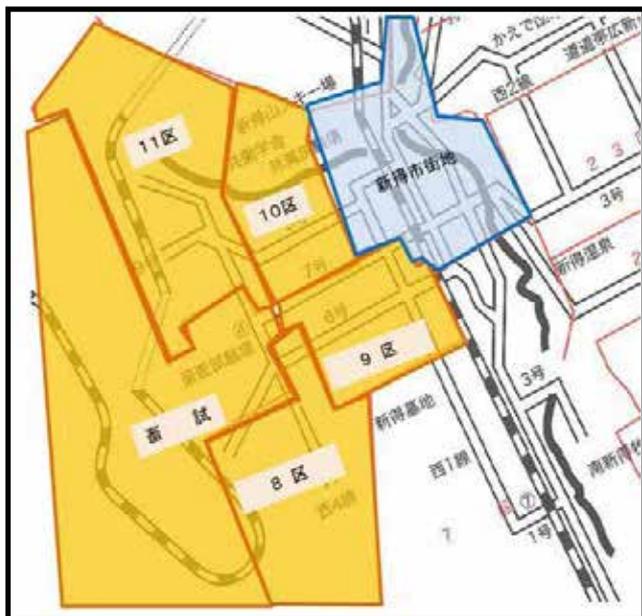
〈新得市街地〉



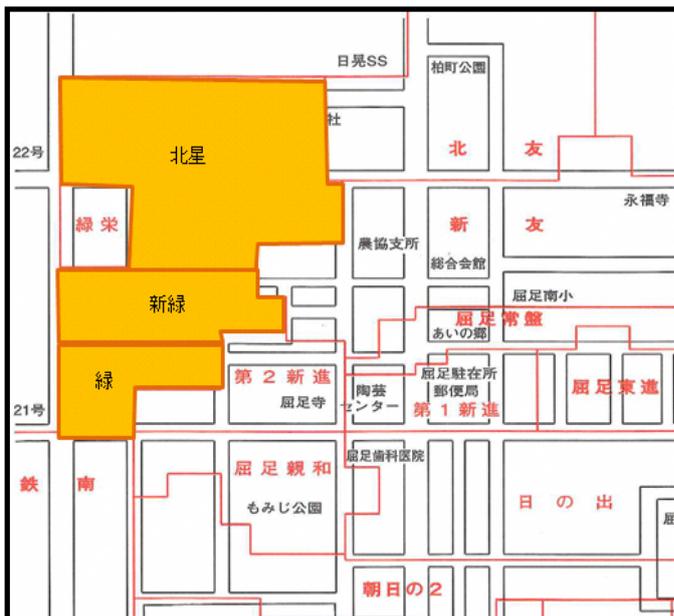
○避難情報発令状況

対象町内会	畜試、8区～11区、神社町、一心の1、つつじヶ丘、ひばり、春陽、春光、新進、西和、ひまわり、西栄、親交、永交、同和、常盤、屈足北星、新緑、緑
対象世帯・人数	新得地区 1,083 世帯 1,868 人 屈足地区 92 世帯 194 人
避難勧告発令	8月30日 15:00
避難勧告解除	9月 1日 14:00 (屈足地区) 9月 2日 13:30 (新得地区)
避難指示発令	8月30日 16:30 (永交会及び常盤会の一部 29 世帯 50 人) 8月31日 1:20 (神社町会、一心の1会 54 世帯 109 人)
避難指示解除	9月 2日 13:30 避難指示を解除し、避難勧告へ変更 ※一心の1会8世帯・常盤会1世帯は家屋倒壊の恐れがあるため、避難指示を継続 9月 6日 8:00 ※家屋倒壊の恐れがあった9世帯の避難指示を解除し、避難勧告へ変更
避難発令全て解除	9月 9日 16:00 ※河川の応急復旧が完了したため、全ての避難勧告を解除

〈新得農村地区〉



〈屈足地区〉



【被害の概要】

◆パンケシントク川の氾濫

増水・氾濫により河岸が決壊し、付近の家屋等の流出・浸水、道路や神社橋、JR線路鉄橋の崩落など甚大な被害が発生しました。

また、31日夜間に避難しようとした際、崩落した神社橋から車ごと落下し1名が行方不明となりました。捜索の結果、9月2日、佐幌川にかかる真心橋の上流付近で遺体で発見されました。



▲氾濫したパンケシントク川 (8月31日午前5時撮影)



河岸が侵食されたことにより
道路、線路の崩落及び家屋の流出が発生

パンケシントク川

本通橋

佐幌川

▲上空から撮影したパンケシントク川一帯 (8月31日午前9時撮影)



◀ 崩落した神社橋 (8月31日午前5時撮影)

▼ 崩落した、パンケシントク川にかかるJR線路鉄橋 (8月31日午前5時撮影 本通橋西側)



▲ 寸断された道路。この先にあった民家が流出した (8月31日午前5時撮影 JR線路鉄橋西側)



▲ 流された倉庫で封鎖された道路 (9月2日撮影 新得本通)



▲ 水が引いた後には大量の土砂や流木が残った (9月2日撮影 本通橋付近)



▲ 氾濫したパンケシントク川に削られて崩落した道路 (8月31日午前5時撮影 新得小学校北側の学校通)

◆ 中新得川の氾濫



▲護岸ブロックが決壊した中新得川（8月30日撮影）

◀ 中新得川氾濫時の水位等を調査する国土交通省。
かなりの高さまで水位が上昇していたことがわかる
（9月2日撮影 地共済アパート北側）



◀ 大きく崩落した道路（9月2日撮影 新屈足幹線）

▶ 冠水した南2丁目アンダーパス。ピーク時には横を流れる中新得川と繋がり、辺り一面が川と化した。溢れた水は本通を超えて坂道を下り、国道まで流れ込んだ（8月31日午前5時撮影）



◆ 町内各所で冠水、崩落被害



▲ 横を流れる佐幌川からの越水により冠水したサホロリバーサイドP G場（8月31日 管理棟付近から南側を撮影）

◆19日間に及ぶ大規模断水

新得・屈足市街地の全域、農村地区の一部に水道水を供給している新得浄水場の取水施設が河川の氾濫により流出したほか、神社橋などに添架していた水道管が損傷したことにより、町内で大規模な断水が発生しました。

断水は8月31日から完全復旧となる9月18日までの19日間に及びました。

▶被災前の取水施設
(パンケシントク川支流)



▼被災後の取水施設。河川の氾濫により原型を留めないほどに崩壊した。ここから新得山にある浄水場へ数kmに渡って水を引く導水管も激しく損傷した（8月31日撮影）



【平成28年台風10号大雨災害 - 新得町被害状況】

人的被害	死者1名
住家被害	全壊2戸、半壊7戸、一部損壊8戸、床上浸水4戸、床下浸水9戸
農地浸水	211.7ha
断水	8月31日1時30分頃から 9月18日まで 19日間 新得市街及び屈足市街全域、新得・佐幌・屈足農村地区の一部（2,636戸/5,290人）
停電	・8月31日一時的に町内全域で発生 ・トムラウシ温泉周辺で、8月30日～9月23日まで
町災害復旧費	17億5,596万円 (公共施設の復旧費用 16億3,737万円/給水車手配など応急対応費用等 1億1,859万円)
町実質負担額	2億9,187万円 (災害復旧費から、寄附金・国や道の負担金・国の交付税措置による収入を差し引いた額)

■台風10号などによる暴風・豪雨災害について、政府はこれを「激甚災害」に指定しました。

激甚災害制度は、国民経済に著しい影響を与えるような激甚^{*}な災害が発生した場合に政府が指定するもので、公共土木施設や農地等の災害復旧費用について自治体の財政負担が軽減されます。この指定は、台風10号が全国的に非常に大きな被害をもたらしたことを物語っています。

※激甚…被害の規模や範囲などが極めて大きく激しいこと

◆復旧作業の開始

まちの復興に向け、各所で懸命な復旧作業が始まりました。

復旧に当たって課題となったのが、水が引いた後に残された大量の泥と流木。特に泥は新得市街地の広い範囲に渡って残り、まち全体を茶色に染め、悪臭を放っていました。

浸水した家屋からも泥出しが必要でしたが、断水で水が使えない中での清掃は大きな困難となっていました。

また、高齢の方などにとっては「給水所から家まで生活用水を運ぶことができない」といった問題もありました。



◆助け合いの心

こうした状況の中、被災者の大きな力となったのが町民同士の「助け合い」でした。

9月7日に設置されたボランティアセンターには多くの方が登録され、17日までに延べ676人が活動。ボランティア自身も生活に苦労する中、泥や流木の除去作業、給水活動等に協力いただきました。

また、このほかにも同センターの設置前にボランティアの申し出があり、多くの方の協力がありました。

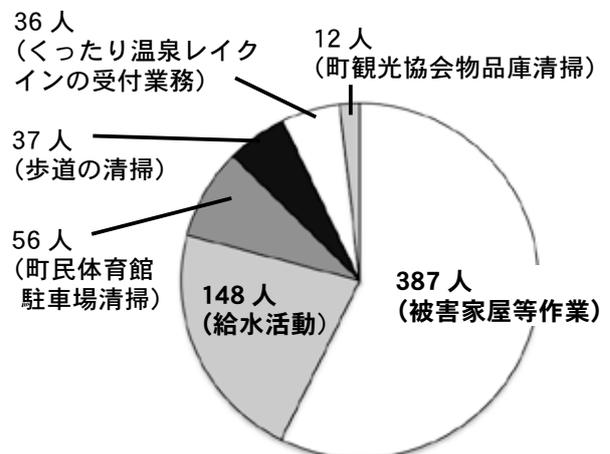
なお、こうしたボランティア活動以外にも、近隣住民や町内会などで様々な助け合いが行われ、町民は互いに支え合いながら、災害を乗り越えました。



▲泥や流木の撤去、給水作業、炊き出しにあたる町民ボランティア



▲新生の2町内会で実施した「ふれあい給水」1軒ごとに担当者を決め、毎日給水活動を行った



■ ボランティア活動内容（延べ人数） ■

水道が使えない生活

私たちの生活を一変させた19日間に及ぶ断水。トイレ、風呂、洗濯、食器洗いなど生活の全てが一瞬にしてままならなくなり、当たり前に使っていた「水の大切さ」を実感することになりました。家庭にある大小様々な容器を持参し、給水所から重たい水を持ち帰ることが私たちの日課に。

日中は町内に設置された簡易トイレを利用。自宅のトイレを使う際は約6ℓの水が必要で、苦勞して持ち帰った水もすぐに無くなってしまいます。多くの家庭では、節水の知恵や工夫を実践しながら生活をされていたものと思います。

また、井戸水や洗濯機の利用呼びかけ、町内はもとより鹿追町公共施設・温泉などでも入浴施設等を無料で開放していただきました。

苦しいながらも私たちが断水生活を乗り越えることができたのは、こうした様々な支援のおかげであったことを、忘れてはなりません。

なお、この間、水道施設の復旧作業は昼夜を問わず猛ピッチで行われ、想定よりも2週間早い復旧を迎えています。



◀自衛隊によって屈足総合会館前に設置・運営された支援風呂「熊乃湯」。断水で入浴できない多くの町民の心と身体を癒した。写真は屈足南小児童から感謝状を渡す様子

◆寄せられた支援と善意

町民の生活支援や復旧・復興にあたり、個人・団体・企業・自治体など全国の皆様から心温まる数多くのご支援をいただきました。

支援の全てをご紹介することは叶いませませんが、この場をお借りして、改めて皆様に厚くお礼を申し上げます。

【義援金】

3521万3000円
生活支援や再建のため、被害の程度に応じて被災者へ直接お届けしました

【寄附金】

7857万0639円
町が行う災害復旧事業の財源として活用させていただきました

【支援物資】

水や乾パン、衣服など多数（公民館ふれあいホールいっぱい量）
状況に応じて、一人暮らし高齢者の方などへお届けしました



上) 姉妹町の五ヶ瀬町の上組小学校から届いたお見舞いの手紙とメッセージ付き写真を手に笑顔を見せる屈足南小児童



右上) 友好都市東根市の東根小学校から届けられたお米と応援メッセージを受け取った新得小学校児童

右下) JR新得駅前で行われた大日本プロレスによる炊き出し。焼肉丼やラーメンなどが振る舞われたほか、プロレスパフォーマンスで町民に元気を与えていただいた



災害対応の課題を検証

当時の災害対応について、その後、町民意見調査のほか、庁内検証委員会、町民や関係機関による大雨災害検証委員会を設置し、課題の検証と改善案の検討を行いました。

検証された主な課題と、その後実施した改善策を掲載します。

災害検証委員会から提言のあった課題・その後実施した改善策

●提言のあった課題 →その後実施した改善策

【職員配置・役割・情報収集】

●30日の終日、町職員が土のう積みをしていて、情報収集等の人員が不足していた

→応急対応は消防団等へ協力を依頼し、町職員は情報収集と発信を担当するようマニュアル化

●被害が最大となった30日の夜間、町職員を自宅待機としたことで人員不足に陥った

→職員体制の基準をマニュアル化

●応急対応の人員が不足。屈足消防団に出動要請をしておらず、協力をもらうべきだった

→早期に消防団依頼を判断。また、建設協会等との協力体制について協定を締結済

●山間部降雨量のいち早い把握、増水予測が必要

→新たに設置された簡易水位計等のデータについて北海道から提供を受ける

●災害対策本部と連絡が取れないことがあった

→総合相談窓口の設置をマニュアル化

【情報発信・伝達】

●広報車の音が聞こえず、避難情報の伝達不足

→スピーカーを改善し、かつ停車しながら放送

→情報発信・伝達手段を多様化

→町内会に連絡網の整備などを依頼

→要配慮者情報を整備し、直接連絡 など

※防災無線等の必要性は時間をかけて検討

●災害当初は情報を入手する方法が少なかった

→情報発信・伝達手段を多様化

→登録制防災情報メールの運用

●福祉施設や診療所等への対応・連絡が不十分

→避難情報を直接連絡する箇所をマニュアル化

【避難所】

●ペットがいることで避難しない事例

→避難所では人とスペースを分けて動物を受け入れる（ケージに入れて避難してもらうなど）

●避難所で寝泊まりするには備品が十分でない

→備品整備を計画的に進める。災害時の備品供給等について各所と協定を締結済

●障がいのある方が避難所での生活に不安を抱き、避難を控える傾向があった

→支援の必要な方（高齢者・障がい者・児童等）の受け皿を含め、福祉避難所協定を締結済み

【ボランティアセンター】

●立ち上げ担当がマニュアルに明記されておらず協議、立ち上げが遅れた。また、このことで高齢者等への初期支援が遅れた

→役割の明確化のため、町社会福祉協議会と協定を締結済。

→早期の立ち上げ、平常時から支援ニーズの把握

【災害への備え】

●平常時からの住民参加による訓練が不足

→住民参加型の訓練により防災意識を向上

→子どもを対象とした防災学習を継続

→しんとく節水の日を定め、防災と節水意識の向上

●災害に備えて飲料水や食料品等を備蓄していない町民が多いと思われる

→各家庭で最低3日分の備蓄及び非常時の持出品の準備などを行うよう、広報紙や防災のしおり等を通じて周知

課題を改善し、災害に強いまちへ

検証結果を生かし、課題解決を図りながら防災対策や体制整備を進めてきました。
この5年間で実施した防災対策や取り組みをお伝えします。

マニュアルの見直し

課題や改善点について関係機関等と協議した内容を反映し、
災害時の職員初動マニュアルを令和元年8月に改訂しました。

- 初動対応を時系列順に整理
- 町職員の配備体制の明確化
- 総合相談窓口の設置
- 情報発信・伝達手段の多様化、ルール化
- 福祉施設や医療関連施設への対応
- 支援や配慮が必要な方への対応
- ボランティアセンターの早期立ち上げ、担当の明確化

北海道 新得町

災害発生時の
職員初動マニュアル

新得町 災害対策本部

河川復旧・今後の対応

災害復旧は原形復旧（災害前の姿に戻すこと）が基本ですが、
パンケシントク川を管理する北海道により、河川を改良して防
災機能を強化した上で復旧が行われました。

◎改良復旧されたパンケシントク川

曲がりくねっていた河川をほぼ真っ直ぐに改良し、
佐幌川との合流部分も川下に向かって接続する形に。
増水時でもスムーズに川水を下流に流すことが可能
になりました。

また、災害に伴い、道が管理するパンケシントク川、
パンケシントク川、広内川に簡易水位計、監視カメラ
が設置されたことで、定時や降雨時のパトロール
に加えて、常時水位の観測が可能となりました。



◎中新得川の復旧、 一級河川（北海道河川）への昇格要望

被災した危険箇所の復旧を完了しています。

また、今後の豪雨災害に備えるためには大規模な改修
が必要となることから、町では中新得川の一級河川昇
格について、北海道へ要望を続けています。一級河川
となることで河川管理者が町から北海道へと変わり、
道の事業として必要な改修が行われる見込みです。



災害に強いインフラ整備

被災した取水施設を強固なものへと更新しました。また、老朽化が進んでいた新得浄水場の更新工事を行い、耐震性や降雨時の浄水能力が大きく向上しました。

◎強度を向上させて取水施設を更新

被災により損壊した取水施設や導水管を従来とほぼ同じ場所で更新しました。取水施設は当時の大雨にも耐える強度の施設になっています。



◎新得浄水場を更新

震度6強の地震にも耐えられる構造で、非常用発電機により停電時でも12時間は外部電源なしで運転可能です。また、最新の浄水設備により、降雨時の濁りも確実に除去することができます。



避難所の機能強化

今回の災害では、断水により避難所でも水が使えなくなる事態が発生しました。今後の断水や停電等に備え、避難所となる施設を一部改修するなどしました。

◎避難所トイレ等の改修

【なごみ、町公民館、新得中学校】

断水時、防火水槽等からトイレ用水などへ水を供給できるように改修しました。

【改修：屈足南小学校】

停電により受水槽から水を送り出す給水ポンプが使えなくなった場合に備え、停電時でも水を供給できるよう配管を改修しました。



▲新得中学校に設置された地下水ポンプ

◎手押しポンプを設置

【設置：新得中学校、屈足中学校（一時避難所）】

断水時でも生活用水を確保できるよう、手押し式の地下水ポンプを設置しました。学校への設置により、生徒の防災意識向上にも期待ができます。

◎非常用電源の接続盤を整備

【整備：屈足総合会館】

停電時に備え、非常用発電機の接続盤を整備しました。



▲屈足総合会館に整備された接続盤

防災拠点としての新庁舎

防災拠点施設としての機能を十分に発揮できる安全性・信頼性の高い施設とし、様々なリスクに対応できる性能とシステムを持たせた建設計画を進めています。

◎非常用発電設備の整備（避難所となる公民館への電気供給も可能とする）

◎基幹設備を2階に整備するなどの浸水対策

◎災害対策拠点としてのスペース・設備

◎災害情報や充電サービスを提供するロビー

◎防災備蓄庫を新たに整備



▲役場新庁舎外観イメージ図

防災備蓄品の整備

防災備蓄品を改めて整備し、各避難所などに保管しています。食料品等は保存期間に留意し、発電機はオイル交換や定期運転を行うなど、災害に備えて適切な管理を行なっています。

主な備蓄品（令和3年3月末時点）

- 食料品…約 6,000 食（乾パン・アルファ米など）
- 機器等…発電機、ライト、簡易無線機、石油ストーブ、ジェットヒーター、テレビ、ラジオ等
- 飲用水…約 1,200 本
- 感染症…マスク、消毒液、避難ルーム（テント）等
- 寝具等…ベット、エアーマット、毛布、寝袋等

防災訓練等の実施

町民の方や町職員を対象とした防災訓練等を実施しています。また今後、災害対応経験のある職員が退職し、対応経験のない職員が増えることから、職員間で経験や知識の共有を図っていく必要があります。

●地域防災セミナー

災害時の自助の力を養うとともに、地域の連携による共助活動につなげることを目的に開催。町民と職員で避難所運営ゲームを体験しました。



●避難所設営・受入訓練

感染症に配慮した避難所開設を想定して行われた町職員による訓練。状況に応じた避難者の誘導や、スペースを確保した避難所の設営を実施しました。



節水の日・防災授業

平成 29 年度子ども議会での意見を踏まえ、断水時の不自由な生活を忘れず、これを風化させないために、町では断水が始まった 8 月 31 日を「しんとく節水の日」として決めました。

●「しんとく節水の日」の取り組み

広報紙などを通じて町民の方へ節水を呼びかけているほか、小学校で出前講座を毎年実施。町職員が当時の被害状況や節水の工夫などを伝えるほか、実際の給水袋を用いた給水体験を行なっています。



●防災出前授業

児童・生徒を対象に実施し、昨年度は「災害図上訓練（DIG）」や、避難所内で使用するテントの設営を体験。「自分の命は自分で守る」ために必要なことなどを、子どもたちへ伝えています。



災害に備えて

町民の皆さんへお伝えしたいこと

- 避難情報（避難指示等）は、今後も「町内会単位」で発令します。
 - ご自身の家庭が「どの町内会に属しているか」を把握しておくようにしましょう

- 開設する避難所は、災害の種類や地区の状況によって変わります。町が早期の状況判断を行い、町民の皆さんに「どこへ避難するのか」を伝えます。
 - 付近の避難所・避難場所を把握しておくようにしましょう（防災のしおりに記載）

- 避難情報の発令・伝達は、主に以下の方法で行います。

【全体的な伝達手段】

- 広報車両、消防車両による巡回放送
- 町ホームページ
- 新得町防災情報メール（平成29年度導入）
- テレビ（データ放送）やラジオ
- 緊急速報メール（ドコモ・au・ソフトバンク 共通サービス）
- 事業所等への紙での情報掲示依頼



【その他、個別の伝達手段】

- 農村地域の方 ⇒ 農業協同組合からの一斉FAXで連絡
- 町内会長、要配慮者、福祉施設・医療関連施設 ⇒ 電話などで直接連絡
- 地域団体、事業所など ⇒ 電話等、様々な手段

※政府が定める警戒レベルが見直され、「避難勧告が廃止」されています

各町内会・町内会長へ お伝えしたいこと、お願いしたいこと

- 避難情報を発令した場合、その区域の全町内会長へ、町から電話等で直接連絡します。

- 災害時は以下の内容等について、各町内会に協力を要請する場合があります。
 - 町内会内における災害情報の周知・伝達
 - 高齢者の安否確認等、会員の状況の確認・把握
 - 支援物資等の配布
 - その他、各町内会で対応可能な取り組み（給水支援など）※平常時から連絡体制の確認・強化を行うなど、災害への備えをお願いします。

- 防災講習等の取り組み、町が行う防災訓練等への参加、自主防災組織の設立検討など可能な範囲で、日頃から町内会の防災力向上に努めていただくようお願いします。

令和3年5月20日から

警戒レベル

4

避難指示で必ず避難

避難勧告は廃止です

警戒レベル	新たな避難情報等		これまでの避難情報等
5	 災害発生 又は切迫	さんきゅうあんぜんかくほ 緊急安全確保 ※1	災害発生情報 (発生を確認したときに発令)
~~~~<警戒レベル4までに必ず避難！>~~~~			
4	 災害の おそれ高い	ひなんしじ <b>避難指示</b> ※2	・避難指示(緊急) ・避難勧告
3	 災害の おそれあり	こうれいしゃとうひなん <b>高齢者等避難</b> ※3	避難準備・ 高齢者等避難開始
2	 気象状況悪化	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1	 今後気象状況悪化のおそれ	早期注意情報 (気象庁)	早期注意情報 (気象庁)

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません

※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることとなります

※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人にも必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです

警戒レベル5は、  
すでに安全な避難ができず  
命が危険な状況です。  
警戒レベル5緊急安全確保の  
発令を待ってはいけません！

避難勧告は廃止されます。  
これからは、  
警戒レベル4避難指示で  
危険な場所から全員避難  
しましょう。

避難に時間のかかる  
高齢者や障害のある人は、  
警戒レベル3高齢者等避難で  
危険な場所から避難  
しましょう。

内閣府（防災担当）・消防庁

### ※避難する際の注意事項

- 感染症が収束していなくても、災害時は危険な場所からの避難が原則です
- 安全な場所にいる人は、避難する必要はありません
- 避難場所・避難所だけでなく、安全な場所に住む親族、知人宅への避難等も選択肢です
- 豪雨時の屋外移動は、危険が伴います。早めの行動で命を守りましょう
- 町の避難場所を事前に確認しておき、緊急時は随時、避難所開設情報を確認しましょう

# 防災のしおり

## ◎一家に一冊。保存版「新得町防災のしおり」

- ・日頃から備えてほしい非常持ち出し品
- ・災害種類別の防災のポイントや危険箇所
- ・全避難所・避難場所をまとめた防災マップなど、新得町の様々な防災情報を掲載しています。

このしおりは非常に重要なものです。  
各家庭で必ず常備され、平常時からお読みいただくをお願いします。

お手元がない方は、役場・公民館・屈足支所でお受け取りください。(広報しんとく令和3年4月15日号への折り込みで全戸配布しています)

## ◎浸水想定区域図 (ハザードマップ)

想定しうる最大規模の雨が降り、新得地区のパンケシントク川、屈足地区の十勝川が氾濫した場合の浸水発生地域と深さを示しています。

大きな災害を想定し、お住いの地域の確認をお願いします。(防災のしおりに掲載)

令和2年度作成  
保存版

●新得町役場  
☎0156-64-5111

●屈足支所  
☎0156-65-2111

●水道に関するお問い合わせ  
新得町役場施設課  
☎0156-64-0529

●警察  
新得警察署 ☎0156-64-0110  
屈足駐在所 ☎0156-65-2151

●火事・救急車  
新得消防署 ☎0156-64-5103  
屈足分遣所 ☎0156-65-2103

**新得町防災情報メール**

QRコードを読み取り、Eメール(件名:本文不要)を送信してください。  
※QRコード読み取りが出来ない方は、bousai.shintoku-town@raidens3.kitaiwork.jpにEメールを送信してください。  
※電話・FAXでの登録も可能です。内容や登録方法など詳しくは23ページをご覧ください。

いざという時のために見える場所に保管しておきましょう

新得町

右上に「令和2年度作成 保存版」と記載されたものが最新版です

# 避難準備

いざという時のために、日頃から備えを万全にしておきましょう  
(防災のしおりに掲載)

### 非常持出品

*あらゆる災害・非常事態に備えて今一度確認してみましょう。

●貴重品

●ラジオ  
●照明器具

●衣類

●非常用食品

●道具類

●救急・衛生用品

病院から処方された薬も忘れずに!

### 緊急時の連絡先や避難先の確認

### 感染症対策持出品

●マスク

●消毒液

●ウェットティッシュ

●体温計

●避難所用スリッパ

### 家族構成に合わせた準備

- 乳幼児がいる場合
  - 粉ミルク、ほ乳ビン、紙おむつなど
- 要介護者や高齢者のある家庭
  - レトルト食品(おかゆなど)、着替え、紙おむつ、ウェットティッシュ、障がい者手帳、老眼鏡、補聴器、入れ歯と入れ歯ケース、補助具などの予備、常備薬など

### 備蓄品

※数日間を自活するためのもので、最低でも3日分を用意しましょう

●燃料

●洗面具

●水

●暖房

●食料品

# 「新得町防災情報メール」に みなさん登録をお願いします!

新得町では、登録された方へ防災情報などを携帯電話などに配信しています。  
町民の皆様が安全で安心な生活が過ごせますよう、新得町内に関わる気象情報、  
避難関連情報や緊急のお知らせを電子メールや電話、FAXでお知らせするサービスです。



## 配信する内容

### ▼町から状況に応じて配信

気象情報・・・大雨特別警報・大雪特別警報  
緊急で危険が伴う気象警報など  
避難情報・・・避難準備・高齢者等避難開始  
避難勧告・避難指示（緊急）  
災害情報・・・給水情報等



防犯情報・・・近隣の空き巣情報や詐欺などの  
犯罪情報

その他緊急情報・・・ヒグマの出没情報、  
火山情報など

その他急を要する情報を  
判断してお知らせします



### ▼情報を受け取る方法

- 1 電子メール 携帯電話等へのメール送信  
(町からのメールを受信できるよう設定してください。)
- 2 電 話 ご自宅の電話への自動音声案内  
(電話でメッセージを聞いた後最後に#を押す必要があります。)  
※#を押さないと複数回かかってしまいます
- 3 F A X 情報内容のFAX送信 (操作する作業はありません)

※メール登録の場合は、登録無料ですが、通信料は登録する方のご負担となります。

どの手段でも  
登録するだけで防災情報  
を受け取ることができます。  
万が一に備えて登録(申込)  
をお願いします。



QRコードから表示されるアドレスへ空メール送信、または下記利用申込書の提出により登録してください

新得町防災情報メール 利用申込書 (総務課庶務防災係又は屈足支所へ、郵送・FAX等により提出)			
申込者氏名		利用方法	電話・FAX・メール 利用するものに○
電話番号		FAX番号	
メールアドレス		@	

※電話番号・FAX番号・アドレスは、利用する方法いずれか一つだけの記載で結構です

## 最後に

新得町に大きな爪痕を残した平成28年台風10号大雨災害。

あの時のように、災害は、いつ私たちに襲いかかるかわかりません。

あらゆる災害に備えて準備し、家族と防災について話し合うなど心構えをしておきましょう。

そうした日頃の備えが、いざという時に「慌てず落ち着いて」対処するカギになります。

皆さんの生命と財産を守るため、町では今後も引き続き防災の取り組みを進めていきます。

町民の皆さんにおかれましても、「自分の命は自分で守る」ために、

平時から防災意識を持って生活していただくようお願いします。

【防災に関するお問い合わせ 町総務課庶務防災係 電話 64 - 5111】



# Close-up

## クローズアップ

**新得陸上少年団初の  
全道大会出場選手が誕生**  
ジャベリックボール投げで全道切符  
8月に函館で行われる全道大会に  
出場する2人をクローズアップ!



西川航平くん (10)  
新得小学校 5年生  
【帯広予選 2位】

菅原敦志くん (12)  
屈足南小学校 6年生  
【帯広予選 1位】

●帯広予選の結果と全道大会の目標を教えてください。  
予選の記録は34mで2位でしたが、自己ベストの35mには届きませんでした。全道大会では、38mを投げて自己ベストを更新できるように練習していきます。

●陸上を始めたきっかけは何ですか?  
町民大学の陸上教室がきっかけです。教室に参加してみても、陸上競技に興味を持ち、少年団で陸上をやりたいと思うようになりました。  
今年の4月に陸上少年団ができたので、すぐに入団して練習に参加しています。



にしかわ こうへい  
西川 航平くん

●ジャベリックボール投げのほかに練習している種目はありますか?  
今はジャベリックボール投げをメインに練習していますが、中距離も自主的に練習しています。

●休日は何をして過ごしていますか?  
体を動かすことが好きなので、親とキャッチボールなどをして過ごすことが多いです。



●陸上はいつから始めましたか?  
5年生の時に陸上教室で始めました。陸上少年団には、設立と同時に入団して、ジャベリックボール投げを中心に練習をしています。



すがわら あつし  
菅原 敦志くん

●今は何種目を練習していますか?  
ジャベリックボール投げと1500m走、走り幅跳びの3種目です。今はジャベリックボール投げをメインに練習しているので、ほかの種目は自主的に練習しています。

●全道大会の目標は?  
帯広予選は天候が悪かったこともあり、自己ベストには届かない39mの

結果に終わりました。全道大会では目標の45mを投げて、自己ベストを更新したいです。

●今後の課題は?

投げる瞬間、最後のステップでどうしても体重が踏み込み足に乗せきれないのが課題です。体重移動のコツをつかんで、力強い投げができれば自己ベスト更新につながると思います。



2人の今後の活躍にご期待くださいー



献花台へ花輪を捧呈する浜田町長

## 戦争犠牲者の冥福を祈る

令和3年度新得町戦没者追悼式（町主催）が7月9日に町公民館で執り行われ、戦没者の遺族ら52人が参列、戦禍の犠牲となった214人の御霊に哀悼の意が捧げられました。

黙祷の後、浜田正利町長が「終戦から76年が経った今、私たちが享受している平和と繁栄は、戦禍の中で亡くなられた多くの方々の尊い犠牲と国民の苦難の歴史の上にあることを忘れてはいけません。恒久平和の実現に向け、先人たちが築き上げてきた歴史、文化を糧としながら、未来につながるまちづくりに努める」と式辞を述べました。



同講座の様子

## 令和3年度市民後見人養成講座が開講

7月31日、町保健福祉センターで令和3年度市民後見人養成講座の開講式および第1回の講座が開かれ、町民15人が受講しました。

講師は権利擁護コーディネーターの清野光彦氏、司法書士の安田順一氏が務めたほか、弘前学院大学社会福祉学部教授の小川幸裕氏が特別講師として、リモートで講義を行いました。

令和3年度と同講座は今回を合わせ、11月までに全7回の開催を予定しています。



今季最後の全道の舞台へ臨む新得町野球少年団一同

（8月1日から開催された全道大会においても勝ち進み、見事優勝されました！）

## 新得町野球少年団全道大会へ出場

新得町野球少年団が7月3日から10日にかけて開催された、第50回全道少年野球大会十勝支部予選に出場。38チームが参加した同予選を勝ち抜き、全道大会への切符をつかみとりました。

今季最後となる全道大会に向け、主将である湯浅導大くん（6年生）は「日頃の練習を信じ、自分たちの野球を貫いて、全道大会でも楽しんで優勝したい」と意気込みを語りました。

		① 65歳以上の方	② 64歳以下の方	合計 (①+②)
対象者数		2,250人	3,075人	5,325人
予約済みの方		2,077人	2,251人	4,328人
予約率		92.3%	73.2%	81.3%
接種済みの方 ※( )は、対象者数 に対する接種率	1回済み	2,049人 (91.1%)	1,638人 (53.3%)	3,687人 (69.2%)
	2回済み	2,028人 (90.1%)	884人 (28.7%)	2,912人 (54.7%)

- ・ 6月23日～教職員、保育士等への優先接種開始
- ・ 7月6日～基礎疾患保有者への優先接種を実施 (8日まで3日間)
- ・ 7月6日～64歳以下の方の接種開始
- ・ 7月26日～中学生を対象とした集団接種を実施
- ・ 7月29日～7月中の接種を希望する65歳以上への接種終了
- ・ 9月22日～集団接種終了予定

※新型コロナワクチンの接種は強制ではなく、本人の意思により受けていただくものです。職場や周りの方などに接種を強制したり、接種を受けていない人に差別的な扱いをすることのないよう、お願いいたします。

## 《新型コロナワクチンに関するお問い合わせ》

保健福祉センターなごみ (保健福祉課) 64-0533

## 広報モニター の声

広報モニターさんから「広報しんとく7月号」を読んだ感想・ご意見をいただきました。

### ▼特集「あなたの生活をサポート ー新得町支援制度ー」

・新得町にどのような支援制度があつて、どこに問い合わせればいいのかを改めて特集することは、情報弱者といわれる人にとつても、特に良い内容だと思えます。

・問い合わせ先の職員さんの写真がフレンドリーに感じられ、わからないことなどを聞きやすい雰囲気の良いと思いました。

### ▼その他の記事

#### 【合言葉は#We love 新得】

・SNSで町の魅力を発信し、知ってもらうことには、強い意味があると思います。

・We love 新得の取り組みはまちに多くある魅力を「外へ発信する力が弱い」といった弱点を解

決できる鍵になり得る、とても良い取り組みだと思いました。

### 【第3セクターの決算状況】

・用語の説明があつたことで、より分かりやすかったです。

・国民宿舎経営強化補助金の推移を見て、現在の施設規模が利用者数に対して適当であるかどうか、疑問を感じました。

・18ページ特別損失の額が空欄でした。↓同欄の額は正しくは0万円です。お詫びして訂正いたします。

### 【まちの動き】

・ノースライナー(帯広ー旭川間)が国道38号線沿いではなく、駅前で乗り降りができる、助かる人が多いと思えました。同じように札幌行きのバスも停車してくれると、なお良いと思います。

### 【その他】

・広報モニターからの声をしっかりと取り入れて改善していることがよくわかります。



# 健康だより

NO. 75

## 自分でできるからだやこころのケアをはじめよう！

働く人のおよそ6割の人が仕事や職業生活に関して、「強い不安、悩み、ストレスがある」と言われています。要因のトップは男女共に「仕事の量や質」です。ストレスの気づきのポイントは・・・

いつも楽しんでいる事がつまらなく感じる

### 「いつもと違う」こと

いつもならなんでもない事にイライラ・・・

いつもの時間に起きれない・・・



いつもならうまくできるのに・・・

### 知っていますか？ストレスは3段階を経て心身に影響を及ぼします

#### 1、警告期

「疲れたな」「調子悪い」など心身から危険信号を発する時期

#### 2、抵抗期

疲労感が興奮に変わったり、反対に脱力感に陥る時期

#### 3、疲れ期

疲れきって病気に移行する時期



### ストレスを早めに軽減！仕事の合間からだ・こころのケア

#### 働き上手は休憩上手

2時間働いたら10分の休憩を



10分休憩で座ってできる体操！

適度に休憩をはさむと疲れがやわらぎ、仕事がかどります。

～肩・胸のばし～  
体の後ろで手を組み、両腕を伸ばして胸を広げる

～腰ひねり～  
両手で背もたれをつかみ、左右にゆっくりひねる

～目の体操～  
両目をかたく閉じてから、パッと大きく開く

#### ●「物事のとらえ方」を柔軟に悪いストレスを良いストレスに！



悪いストレスを良いストレスに変える方法の1つとして物事のとらえ方の見直しがあります。物事のとらえ方は1つではないと思えるようになるだけでも心は少し軽くなります。

できなければ意味がない・・・

できない時もある 次に活かそう

〇〇さんのやり方は自分と合わない

人の数だけ考え方がある

これだけしかできない・・・

これだけできた

人生こんなことばかりだ・・・

人生こんな時もある

常に新しいアイデアを出し続けなければならない・・・

周囲の人と話し合っ生まれるアイデアがある



【町保健師】

# 広報しんとクイズ!

広報しんとくを読んでクイズに答えよう!  
正解者の中から抽選で商品をプレゼント!

## 問題 《広報しんとく7月号から出題》

7月号の特集「あなたの生活をサポート - 新得町支援制度 -」では、役場の取り組みを身近に感じてもらうため、各課の職員の写真をたくさん掲載しました。

さて、特集に登場した職員は、何人?

答え ○ ○ 人

## 相馬商店 えきまえベジ 季節の野菜詰め合わせを 1 名様



写真は見本です  
生育状況で内容  
は変更となります

町内の野菜農家さん4軒がほぼ毎日、持込販売!  
朝の畑の状況次第で何が並ぶかはお楽しみっ!  
「今日は何があるかな」とのぞくだけでもお気軽に♪  
公式LINEで出荷状況をお知らせ!  
ぜひ友達登録してください♪

商品提供》相馬商店 64-5055

えきまえ  
ベジLINE



【締切】8月27日(金) 【応募先】地域戦略室広報広聴係 【応募方法】広報窓口・電話・FAX・メール

【必要事項】①答え ②氏名 ③年齢 ④住所 ⑤電話番号 (再応募の方は①答え・②氏名のみでOK!)

連絡先は  
裏面掲載

※応募は18歳以上の町民で1世帯1人まで(毎回応募可能) ※当選者には月末頃連絡 ※翌月号に氏名掲載

《当選商品を提供いただける事業者を常時募集しています!》

先月の当選者発表: 渡部昭彦さん、新沼京子さん、中村望美さん (応募数6件)

(先月号の答え: スワン)



7/16 屈足保育園七夕まつり会



7/9 新得幼稚園七夕まつり会

ヨーヨー釣りや輪投げ  
など、楽しい遊びが盛  
りだくさんでした♪



7/20・21 新得保育所七夕まつり会



7/31 **町**民大学わくわく体験教室「しみずの森でデイキャンプ」  
清水町と合同開催！



7/21 **し**んとくフロアカーリング大会



7/16 **ち**びっこひろば育児リフレッシュ講座



7/30 **夏**休み工作教室



7/14 **交**通少年団交通安全キャンペーン



8/1 **親**子ラジオ体操の集い  
屈足会場



新得会場

写真で切り取るまちの話題

# 地域おこし 協力隊 活動レポート VOL.5

## 活動内容

牛の搾乳や、放牧地での外作業、牛舎の建築・土木作業などさまざまな仕事をしていきます（古矢）

普段は主にチーズ工房でチーズを中心とした乳製品を製造しており、搾乳や農場での外作業、ミンタルの手伝いなどもあります（木川）

## 協力隊になった経緯

以前は農業やログハウスの建築の仕事をしていました。友人に共働学舎や新得町のことを教えてもらい、魅力と希望を感じ協力隊に応募しました（古矢）

共働学舎でチーズ作りを学びたいと思っていたときに、新得町が協力隊として共働学舎で活動する人を募集していることを知り、すぐに応募しました（木川）

## 今後の抱負

共働学舎の方々と協力して、生き物の健康につながる環境整備に携わっていききたいです。（古矢）

チーズなどの発酵食品に関わる微生物のことからしっかり理解したいです。そして、人間と自然が調和するような優しく美味い食品と、新得町でしか生み出せない美味しいチーズ作りを目指して頑張りたいです（木川）



木川 夏貴さん  
【チーズ加工を目指した特色ある放牧酪農推進員】  
前住所地：長崎県  
研修先：共働学舎新得農場



古矢 佳奈さん  
【チーズ加工を目指した特色ある放牧酪農推進員】  
前住所地：神奈川県  
研修先：共働学舎新得農場

# 短歌

作・新得短歌会

山青く空は水色六月の透明な風吹き抜けてゆく

池田 一步

亡き母の縁遠きいとこの便りあり楽しみもふえ絆つづきて

小野 恭子

道野辺に寄り添い生きるマーガレット今こそ強く生きよというに

高橋 幸子

來往かたを振り向き丘に佇めばまよひある日も野辺のいちりん

齊藤 美代子

おにぎりの具には梅干夏だから種も一緒に入れてください

岡田 御狸裸

けがれなき菩薩様なり日毎増しゆくこの違いどこにあるかと

小関 白潮

向日葵の揺れる繋がりこの夏もふりまく笑みにみなのお侍

中井 由利子

芳しき香に包まれてバラを剪る棘も許せる至福の時よ

菊池 水月

アパートの間を数台車ゆく白か黒かと思いつめつつ

石本 洋

# しんごく 新得短歌会

連載 その十八

夏休み

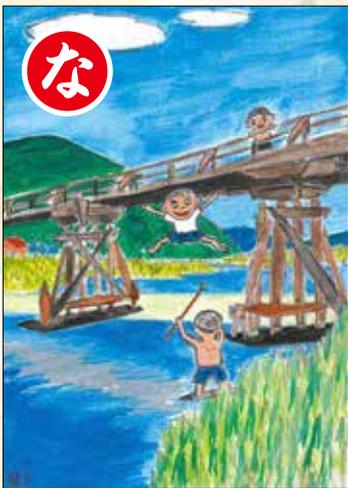
友と泳いだ

佐幌川

二条橋あり

橋井橋あり

絵 高久 教仁





# 図書館だより

## 特集コーナー



「認知症によりそって」  
9月は世界アルツハイマー月間です。  
認知症の理解を深めてもらうために、  
絵本や児童書、病気についての本など  
と合わせ、パンフレットも掲示します。  
期間 9/1 (水) ~ 9/30 (木)

## 新刊から紹介 ★☆☆ 注目の一冊



今日注目の  
一冊はこちら!

新得町図書館  
豊田 修子司書

### 「神よ憐れみたまえ」小池 真理子

昭和38年11月、三井三池炭鉱の爆発と国鉄の事故が同じ日に発生し、「魔の土曜日」と言われた夜。12歳の黒沢百々子は何者かに両親を惨殺された。母ゆずりの美貌で、音楽家を目指していたが、事件が行く手に重く立ちはだかる。移りゆく歳月の中で運命が動き出す...

## 新着図書LOOK!



### 【一般書】

- ・君と歩いた青春 / 小路幸也
- ・ラクやせ習慣ダイエット / h a z u
- ・実家が放してくれません / まきりえこ
- ・零の晩夏 / 岩井俊二
- ・我が産声を聞きに / 白石一文



### 【児童書】

- ・おおきなかべがあつたとき / サトシン
- ・水族館 / ほりかわあやこ
- ・恐竜トリケラトプスとティラノクイーン / 黒川みつひろ
- ・お化けの猛暑日 / 川端誠
- ・ばけねこ / 杉山亮

## 善意のこころ (敬称略)

### 町や町の施設に

○株式会社カミサホロファーム (太田義正 代表取締役)  
町へ 2,460 万円

### 家族が生前お世話になったお礼に

○有限会社みうら (三浦貴宏代表取締役)  
町社会福祉協議会へ 2 万円

○堀内克泰 (さくら会)  
町社会福祉協議会へ 10 万円

ご結婚  
井上和哉♡淵崎美沙子 (24区)



(敬称略)

佐藤	上原	千葉	新居	秋山	伊東	土田	長谷川	おくやみ
妙子	富枝	幸孫	義明	妙子	博	恵美	節子	
(92)	(98)	(82)	(75)	(65)	(84)	(55)	(73)	
7月24日	7月22日	7月20日	7月19日	7月16日	7月16日	7月12日	7月12日	
親	3	屈足	春	若	若	屈足	屈足	
交	区	進	光	草	草	進	進	

編集後記  
■特集作成にあたり、当時のことを思い出したくない方も大勢いるのではと悩みながらも、広報として皆さんの今後の備えの一助となればと、なるべく事細かに作成していただきます。災害を経験されていない方にもお読みいただければ幸いです。■家族で某キャンプ場へ行った所、トイレの水が一時出なくなるトラブルがありました。でも炊事場の水は出るので、バケツなどで流せるんです。にも関わらず、多くの方がその方法で流せることを知らないため、用を足してそのままに。仕方ないので流してあげました。断水の経験が生きた瞬間でした。(川畑)



最近の動きから三点報告します。  
一点目は、新得野球少年団が8月1日から全道大会に出場し、見事優勝されました。子どもたちの努力に改めて感心するとともに、監督、コーチの指導にも敬意を表するところです。

また、同少年団に所属する1人の女子選手が、北海道代表選手として全国大会に出場するという報告もありました。

野球に限らず、子どもたちが努力している姿を見てみると大変嬉しくなります。皆さんの活躍に期待をしています。

二点目は、スポーツ合宿の状況です。今後の予約を含めると、延べ人数で前年比173%の伸びになる見込みです。

今後より多くの選手に利用

町長室から  
こんにちは  
新得町長 浜田正利

ただくことで町の知名度が上がり、町内経済にも好循環を生むことを期待しています。

三点目は、高速道路のことです。「足寄〜陸別間」の事業再開が正式に決まりました。全線開通までにはしばらくかかりますが、十勝・北見にとっては大変喜ばしいことでもあります。

また、本町が長年に渡り設置要望を続けてきた「新得追加インターチェンジ」について、その必要性が国に認められ、8月6日に「準備段階調査箇所」に採択されました。まだ時間はかかりますが、確実に今までとは違う段階に入りました。さらに前へ進むよう一層努力をしていきます。

8月3日から町長職5期目に入りました。4期16年間で支えられました。今日に至った重みを改めて感じています。感染症の影響により皆さんの会話がかなり不足している中でのスタートであり、今後の町政執行に心して望まねばと強く思うところです。

皆さんとの約束であります公約はもちろんですが「次世代につなぐための人づくり」にも意識して対応を進めます。改めて今後も変わらぬご支援をお願い申し上げます。

ひとこと手話講座 No.83

テーマ【スポーツ・野球】

①スポーツ



両手を広げて交互に回す

②野球

右手一本指を軽く握った左手に当て、そのまま両手を振り上げるように左上に移動させる



今月号のモデルは役場保健福祉課在宅支援係長の小田島洋樹さんです。

【有料広告のコーナー】

《ほぐし処 光》 完全予約制 TEL 0156-67-7939

営業時間 9:00 ~ 22:00 (20:00まで予約受付)

営業A ☆ほぐし施術	60分	3,000円
営業B ☆フィジカル整体	40分	2,000円
内容C ☆セット	90分	4,000円
内容D ☆姿勢・体力向上、体幹強化	60分	3,000円

(Dは屈足店のみ)

新得店 西3条南6丁目1-17  
屈足店 屈足幸町1丁目 (フクハラ屈足店 隣)

※ご予約・お問い合わせ お気軽に電話ください